

No. 1545

エネルギーを大切に

— 東 京 —

2月は省エネルギー月間。

'87年省エネルギー展が2月2日から東京を皮切りに大阪、福岡、高松で開かれます。

東京会場の北の丸公園・科学技術館には、小・中学生の省エネのポスターを始め企業、団体による家庭用、産業用の省エネの機器などが展示されています。

中でも太陽エネルギーを使った「ソーラーカート」が注目を浴び、100ワットで14キロ走り、今月から沖縄のアクアポリス屋上で実用化されるとのこと。

エネルギーの大半を外国に依存しているわが国。家庭も工場も省エネに取り組みたいものです。

国体を前に

「春の沖縄」

2月というのに桜が満開の南の国「沖縄」。国営海洋博記念公園の熱帯ドリームセンター」も沖縄の気候風土を生かした施設で、らんや熱帯の花が咲き乱れています。冬なお暖い沖縄には一年を通してスポーツを楽しむ観光客が沢山訪ずれています。日本ハムや中日などプロ野球4球団も練習に適した沖縄でキャンプ・イン。琉球舞踊を観ながら郷土料理を味わう宴席も観光客に楽しみの一つです。

復帰15年目を迎える今年、第42回国民体育大会「海邦国体」が開られます。夏季大会の行なわれる奥武山競技場。秋季大会のメイン会場となる沖縄県総合運動公園も完成間近かです。

一方、国体候補選手たちも早くも練習開始。名護市営相撲場では沖縄県高校相撲大会が行なわれ、本番めざして懸命です。また公園などでも小学生のマスゲームのリハーサルが熱心に行なわれています。

この9月にオープンされる多目的機能をもたせた「沖縄コンベンションセンター」が宜野湾市に建設中です。5,000人収容の大展示棟は見本市や屋内スポーツの会場として利用されます。隣の会議棟は30名から500名の国際会議に充分対応できる施設です。昭和65年には1,800名規模の劇場棟や人工ビーチが完成の予定です。

沖縄コンベンションセンターはリゾート地「沖縄」に人や文化の交流の拠点として県民から熱い期待が寄せられています。